

★ 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会総会が開催されました。

2月15日(金)に総会を開催し、平成24年の活動等を確認の上、平成25年度の事業計画や予算について協議しました。

平成25年度の事業計画としましては、「本問題への対応は、住民の正しい理解と協力が必要不可欠であることから、住民への積極的な情報提供を実施していく」ことを重点項目として掲げ、住民の関心や理解を深めていく取り組みや国の状況をみながら、随時国へ要請活動を実施していくことなどが決まりました。

なお、会議開催前には、鎌田中種子町議長より昨年12月に中種子町議会が協議会離脱を決議した経緯について説明がなされました。

米軍空母艦載機訓練施設の馬毛島への移転は、一度受け入れてしまえば、二度と後戻りはできない熊毛地区最大の課題です。今後も協議会一丸となって本問題に対処してまいりますので、住民のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



協議会総会の様子

～平成24年協議会の活動経過概要～

H24.5.31	協議会が防衛省を訪れ要請活動。神風英男政務官に14万7345人の移転反対署名を追加提出。調査費を執行しないことや、馬毛島をFCLP候補地から除外することなどを求めた要請書を提出。(署名提出総数 217,417 件)
H24.9.27	防衛省職員が地元自治体へ連絡もなく現地視察を行ったことに対する抗議文を防衛省へ郵送。
H24.10.12	協議会は、防衛省を訪れ、長島昭久防衛副大臣に対して、2,056 件の署名と9/26防衛省職員の現地視察への抗議及び本年度の概算要求に対する要請活動を実施。(署名提出総数 219,473 件)



協議会会長(西之表市長)は、総会終了後の報道からのインタビューに対し、中種子町議長の協議会離脱について、「非常に残念だが、将来は復帰してもらえると確信している。」と述べる。